

一 京都大学文学部哲学科卒業論文題目

— 昭和五十八年三月 —

哲学

石倉順一 ニーチェにおけるヨーロッパのニヒリズム

田中茂樹 意識の経験について

—ヘーゲル『精神の現象学』に対する予備的

考察—

竹山重光 カントの判断規定

—ヴォルフとの対比において—

鶴巻一郎 メルロー・ポンティにおける「身体」につい

て

濱岡剛 アリストテレスの生命論

白石裕巳 カント『純粹理性批判』における超越論的観

念性と経験的實在性について

太田伸一 カントの『純粹理性批判』における超越論的

理念

—自由の理念—

河野秀雄 理性の相補的側面としての、理論理性と実践

理性

黒田靖志 ベルクソンの持続について

鈴木良一 ハイデッガーの真理の問題について

平田一郎 プラトン『ティマイオス』における時間と

空間

命成吾 シェリングの『人間の自由の本質』について

中西稔人 カント『純粹理性批判』における自由論

—特にフェノメナ、ヌーメナに着目して—

西洋哲学史

瀬口昌久 プラトン『アルキ比亚デス』における「汝自

らを知れ」についての一考察

印度哲学史

石川和可 Nyāya-Vaiśeṣika における abhāva 概念

心理学

池田和夫 言語活動が同時的随意運動に与える影響につ

いて

岩井葉子 情報処理の深さが記憶に与える影響について

植木核栄 ズキンネズミの味覚嫌悪条件づけ

—腹腔内投与操作がもたらす味覚刺激の嗜好

性増加—

大村昭友 mental paper folding に関する一考察

喜多正浩 言語命令による媒介学習に於ける連合形成

訓練の効果

久保 真人 バランス理論の多次元性に関する一考察

強力 真弓 幼児の表現認知の発達について

小暮 謙作 感覚刺激の心理的類似度について
—支配領域仮説の試み—

佐藤 美紀 印象形成における認知提示

谷口 徹 Stimulus-Bound Behavior のオペラント的
分析

—E誘発動因の特性—

土平 恭子 能力評価の社会的比較における情報の有効性
の役割

中西 晶 混合動機ゲームにおける将来関係予測の効果
羽山 博 先行刺激が後続刺激の処理に及ぼす効果
長谷川 浩 認知的不協和理論

—情報への接触に関する問題—

眞島 祥子 二—三才児における同輩関係の発達
森 周司 判断の精神物理学的関数における弁別性と個
人差の関連

守安 由紀子 印象形成における相貌と性格の関連性につ
て

花山 正岳 PARAFACモデルの心理学への応用

矢幡 洋 社会的状況が要求水準に及ぼす影響について
末平 誠 ラットにおけるオートシェーピング
—条件刺激とオペラントの関係—

倫理學

金山 隆 バスカルにおける理性と心情

美学美術史學

安田 篤生 尾形光琳の屏風絵について

吉中 充代 信貴山縁起絵巻について

井島 弘 世紀末におけるジャポニスム
—Le Japon Artistique にみられる日本文化
の理解のされ方—

吉田 美知彦 東寺講堂詣尊について

大沼 穰 「ケルズの書」の写本形跡について

藤井 肇 ギュスターヴ・モローの芸術について

社会学

江草 美智恵 都市空間におけるコミュニケーション

岡本文子 消費と社会

—ボードリヤールの所説の検討—

小川 逸郎 大衆説得における社会学の考察

寛 彰夫 P.L. Berger 理論における宗教社会学の問題

坂本 西子 個人間レベルでの抗争過程に関する一考察

棚瀬 慈郎 親分子分関係についての一考察

—富山県下の一漁村の事例を中心として—

永井 良和 コミュニティ論からみた年中行事の変遷

西井涼子 戦時下日本社会における民族思想
柳井地生 ライマン、スコットの社会学におけるドラマ
ツルギー

隅原祐嗣 定置網漁村の生活史的アプローチ

奥田洋 都市社会におけるマスコミュニケーションと
地域的コミュニケーションの形態

神部明子 社会的葛藤と紛争の理論的考察

塩澤嘉治 現代部落差別の構造

宮下和雄 E・フロムにおけるフロイト思想の展開

横川裕史 バーガー社会学の研究

牟田和恵 社会運動論

栩木章 アイヴィング・ゴフマンにおけるドラマトロ
ジカル・ソシオロジーの構造について

馬場靖雄 パーソンズとルーマンの相互作用論

橋浦雅子 超自我と「本能」に関する一考察

宗 教 学

安藤泰至 生と死の戦い

平松剛 | 後期フロイトの欲動論 |

山本和人 象徴作用としての知覚
— ホワイトヘッドの知覚論 —

清水茂雄 エックハルトのドイツ語説教における存在の

思想

安藤浩次 ホワイトヘッドの文明論について

神尾和寿 ハイデッガーにおける「不安」の問題

高瀬昭範 ホワイトヘッド

— 『觀念の冒険』より —

石川竹利 ニヒリズムについて

— ハイデッガーのニーチェ理解を中心に —

吉永進一 エリアーデのシャーマニズム論

仏 教 学

門田道也 *Diriyavadana* における *Asokavadana* に
ついでの一考察

新堀 茂 大乘仏教における十二縁起

松田祐子 *Davadata* 伝承の検討

基督教学

本山忠義 キェルケゴールにおける生成の問題について

二 京都大学大学院文学研究科（哲学系）

修士課程修了論文題目

— 昭和五十八年三月 —

哲 学

加藤 恵介 ハイデッガーの Sein の意味への間における

方向づけの検討

中 畑 正 志 アイデアへ到る途

―プラトンのアイデア論の認識論・意味論的

斎藤 稔 章 人倫と歴史の理論

―Dume の知覚理論と外的世界の問題

蛭 川 泰 司 相互主観性と身体

―メルロ・ポンティにおける他者論の視座・

倫 理 学

平 石 隆 敏 ヘーゲルに於ける「人倫性」概念の胚胎

―初期神学論文集を手掛りとして―

市 橋 靖 夫 プラトンの想起説

『ゴルギアス』四八一B 以下

藤 野 寛 ゼーレン・キルケゴールにおける真理とその

伝達

樋 口 努 ―プラトン哲学の立場―

宗 教 学

中国哲学史

武 田 時 昌 『算経十書』の数理思想

克 黄帝内経の陰陽五行説

門 脇 健 絶対知とは何か

仏 教 学

西洋哲学史

貞 松 司 人間の魂の起源に関するダンテの考え方と

トマス の考え方との比較

青 山 亨 Cantakaparya 所収の Sutasoma 物語

心 理 学

―『神曲』と『神学大全』とを中心にして―

山 崎 郁 雄 アレテーと知

―プラトン初期対話篇を中心に―

尾 八 正 哲 二重画面選択視状況において注意が形の認知

に及ぼす影響

倉 田 隆 身体と実存

―メルロ・ポンティにおける「身体―主観」

唐 澤 隼 集団間社会的比較による内集団への過大評価

の研究

の問題―

菅 原 康 二 ラットの記憶に対する海馬損傷の効果

野崎直美 乳児期における対象の動作的認識

社会学

黒田浩一郎 精神病のレイベリング理論に関する一考察
—T・J・シェフの精神病理論をめぐって—

原田隆司 共同意識の問題
—デュルケーム『社会分業論』の考察—

柳川洋一 分配公正論の基礎的考察
—交換論的視点から—

松田素二 アフリカ都市民の社会的関係とエスニシティ
—状況的アプローチ理論の発展をめざして—

美学美術史学

宇恵智子 カント美学の根本問題

大宮康男 鳳凰堂阿弥陀像に就いて
—その様式の成立と展開—

北村知之 サルトルにおける美学
「文学性」をめぐる問題

廣野万寿美 R・バルトにおける記号学の世界と文学の
関係について—

山名伸生 白鳳彫刻の検討

若芝順子 H. Bosc'h
—キリストの生涯を主題とする作品群に関する考察—

三 京都大学大学院文学研究科博士後期課程

学修者氏名（但し、哲学系のみ）

—昭和五十八年三月—

哲学専攻……………大竹正幸 川添信介 清水大介 須藤訓任

鼓 澄治 吉田 修

倫理学専攻……………西村 誠

印度哲学史専攻……………頼宮 勝

西洋哲学史専攻……………加藤雅人 高橋憲雄 中村 治 松田直成

山口 明

宗教学専攻……………佐藤幸治 中島秀憲

仏教学専攻……………五島清隆

基督教学専攻……………掛川富康

心理学専攻……………赤瀬英介 石井 徹 宮原清水 山口正弘

山下博志

社会学専攻……………大杉 至 神原文子 中河伸俊

美学美術史学専攻……………林 愛子

四 京都大学文学部哲学科講義題目

—昭和五十八年度—

※二回生が履修できる専門科目

〔共〕 大学院と共通

〔院〕 大学院のみ

哲学

講義 教授 辻村 公一 ※哲学概論

研究 教授 辻村 公一 ドイツ観念論の哲学 [共]

研究Ⅰ 助教授 木曾 好能 知覚の哲学的考察 [共]

研究Ⅱ 助教授 木曾 好能 論理学 [共]

研究 医療 石井 誠士 人間的自由の問題 [共]

助教授 短大 梅原 猛 日本思想史(倫理学、宗教学、仏教と共通) [共]

講師 加茂 直樹 現代の社会哲学の諸問題 [共]

講師 木村 慎哉 心身問題 [共]

演習Ⅰ 教授 辻村 公一 Hegel: Enzyklopadie der philosophischen Wissenschaften [共]

助教授 木曾 好能 Hume: A Treatise of Human Nature [共]

外国人 教授 Eberhard Max Scheler: Vom fremden Ich (in: Gesammelte Werke Bd. 7. "Wesen und Formen der Symptomatie") [共]

外国人 教授 Scheiffel Kant: Kritik der praktischen Vernunft [共]

講師 井上 庄七 Descartes: Les Passions de l'ame [共]

講義 助手 伊藤 邦武 Leibniz: Monadologie [共]

演習Ⅱ 教授 辻村 公一 哲学の諸問題 [院]

西洋哲学史

講義 教授 藤沢 令夫 ※西洋古代哲学史概説

教授 山田 晶 ※西洋中世哲学史概説

教授 酒井 修 ※西洋近世哲学史概説

教授 藤沢 令夫 プラトン後期認識論の問題 [共]

教授 山田 晶 創造の問題 [共]

教授 山下 正男 中世における修辭学 [共]

教授 田中 千里 中世アラビアの哲学 [共]

教授 柏木 英彦 十二世紀の哲学 [共]

助教授 広田 昌義 Etudes sur Blaise Pascal (フランス語学フランス文学と共通) [共]

法学部 教授 田中 成明 法的思考の特質とその基本概念 [共]

講師 野本 和幸 内包論理をめぐる哲学的諸問題 (後期) [共]

講師 木村 彰善 心身問題の現象学的考察 [共]

演習Ⅰ 教授 藤沢 令夫 Platon: Leges I (西洋古典語学西洋古典文学と共通) [共]

教授	岡 道男	Thucydides, IV~(西洋古典語法 西洋古典文学~共通)	講読II講	師 小池 澄夫	den Griechen, Kap. III~ [共]
演習II教	授 藤沢 今夫	Aristoteles: Ethica Nicomachea II~(倫理学の大学院~共通)	講読 助 手 福谷 茂	Platon: Apologia Socratis (倫 理学~共通)	
演習III講	師 内山 勝利	Heracleitos, Parmenides, Em- pedocles: Fragmenta [共]	研究 授 酒井 修	※I. Kant: Prolegomena 歴史の問題と解釈学 [院]	
演習I教	授 山田 晶	Augustinus: De Trinitate, II [共]	演習II教	授 酒井 修	G. W. F. Hegel: Phänomenologie des Geistes. [院]
演習II教	授 山田 晶	Thomas Aquinas: Summa Th. eol. I, q. 22 46 [共]	講義 授 服部 正明	※インテ思想史 Sankhya 哲学研究 [共]	
演習III教	授 山田 晶	Thomas Aquinas: Summa Th. eol. I, q. 70 46 [共]	研究 授 服部 正明	サンプキヤ 哲学研究 [共]	
演習講	師 水田 英実	Thomas Aquinas: De Unitate intellectus [共]	人文研 助教授 井狩 弥介	ヴェーダ祭式の世界観(梵語学梵 文学と共通) [共]	
講	師 中川 純男	Augustinus: De Civitate Dei [共]	講 師 竹中 智泰	Tarkahyāの研究 [共]	
演習I教	授 酒井 修	G. W. F. Hegel: Phänomeno- logie des Geistes. [共]	講 師 正信 公章	Vedānta 研究(梵語学梵文学と共 通) [共]	
演習講	師 藺田 垣	Nikolaus Cusanus: De docta ig- norantia. (宗教学~共通) [共]	講 師 德永 宗雄	リグ・ヴェーダの神話と伝説(梵 語学梵文学と共通)(後期) [共]	
講読I講	師 今林万里子	B. Snell: Die Entdeckung des Geistes-Studien zur Entstehung des europäischen Denkens bei	助教授 服部 正明	語学梵文学と共通(後期) [共]	
			講 師 小林 信彦	Upanisad, Purāna 選 [共]	
			講 師 正信 公章	サンスクリット文選I(梵語学梵 文学と共通) [共]	
			講 師 正信 公章	※サンスクリット文法(各学科共 通サンスクリット語、仏教学、西 南アジア史学、梵語学梵文学と共 通)	

印度哲学史

通

中国哲学史

講義 教授 日原 利国 ※中国哲学史概説

研究 教授 日原 利国 中国思想史の諸問題 [共]

助教授 池田 秀三 徐幹「中論」の研究 [共]

人文研究 助教授 麦谷 邦夫 魏晋南北朝宗教思想研究の諸問題 [共]

人文研究 助教授 吉川 忠夫 六朝・隋唐時代における宗教と社会(東洋史学と共通) [共]

講師 楠山 春樹 道教と道德経 [共]

助教授 池田 秀三 姚椿「国朝文録」 [共]

人文研究 教授 尾崎雄二郎 説文解字注(中国語学中国文学と共通) [共]

助教授 西脇 常記 史通通釈 [共]

講師 三浦 国雄 「朱子語類」訓門人 [共]

講師 福嶋 正 ※皮錫瑞「経学通論」三礼 [院]

教授 日原 利国 春秋穀梁伝注疏 [院]

心理学

講義 教授 本吉 良治 ※心理学概論

部教育 教授 梅本 堯夫 教育心理学概論(教育学部と共通)

教育学部 助教授 百名 盛之 視聴覚教育概論(教育学部と共通)

研究 教授 平野 俊二 学習・記憶の生理心理学 [共]

助教授 清水御代明 概念学習の研究 [共]

講師 牧野 達郎 知覚・認知の諸問題 [共]

講師 生沢 雅夫 実験計画 [共]

講師 永田 良昭 (未定)(教育学部と共通) [共]

講師 小谷津孝明 (未定)(教育学部と共通) [共]

講師 岡本 安晴 Instrumentation [共]

(未定)

教授 本吉 良治 心理学演習II

教授 平野 俊二 心理学演習I

助教授 清水御代明 (前期)

助教授 平野 俊二 (後期)

教授 本吉 良治 心理学特殊実験(実験乙)

教授 平野 俊二

助教授 清水御代明

助手 岡本 和子

講読 Galfrét-Granton, N.: Naissance et évolution de la représentation chez l'enfant

教授 本吉 良治

教授 平野 俊二

実習 助教授 清水御代明 ※心理学基礎実験(実験甲)

助手 岡本 和子

研究 講師 一谷 壘 ※統計法実習

演習 教授 本吉 良治 現代心理学の諸問題

助教授 平野 俊二

教授 清水御代明 発達心理学演習

教授 中島 誠 流言の社会心理学

倫理学

講義 助教授 西谷 裕作 ※倫理学概論

研究 教授 中 久郎 社会的自我と共同体(社会学と共通)

教授 磯江 景孜 カント実践哲学と現代の諸問題

教授 有福 孝岳 transzendentalと「うこと」

講師 安彦 一恵 現代ドイツの倫理学

講師 梅原 猛 日本思想史(哲学、宗教学、仏教学と共通)

演習I教授 森口美都男 Max Picard: Ist Freiheit heute überhaupt möglich? (前期): Die Welt des Schweigens (後期)

演習II 教授 森口美都男 倫理学の諸問題

助教授 西谷 裕作 Leibniz: Nouveaux Essais sur l'Entendement humain

教授 西谷 裕作 A. N. Whitehead: Process and Reality (宗教学と共通)

教授 山本 誠作 Max Scheler: Die Stellung des Menschen im Kosmos

講師 深谷 昭三 Alain: Idées

助教授 西谷 裕作 Kierkegaard: Krankheit zum Tode (キリスト教と共通)

講師 樹形 公也 Platon: Apologia Socratis (西洋哲学史・学部と共通)

教授 小池 澄夫 美学美術史学

教授 吉岡健二郎 ※美学概論

教授 清水 善三 ※日本美術史概説

教授 吉岡健二郎 美的価値の諸問題

教授 清水 善三 日本古代彫刻史研究

教授 佐々木丞平 円山応挙の研究

教授 乾 由明 西洋近代彫刻史概説

教養部 新田 博衛 音楽作品の構造 [共]

研究 教養部 米山 俊直 都市人類学 [共]

講師 武田 恒夫 景物画史論 [共]

研究 教養部 高橋 三郎 経験社会学の諸問題 [共]

講師 辻 成史 中世写本挿絵研究 [共]

研究 助教授 間場 寿一 政治意識・投票行動の研究 [共]

講師 吉田 友之 絵巻物の展開 [共]

講師 中道 実 社会調査法 [共]

教授 吉岡健二郎 美学美術史学の諸問題 [共]

講師 中野 正大 機能主義社会学の成立と展開 [共]

演習Ⅰ教授 清水 善三 美術史学の実地指導 [共]

講師 高坂 健次 理論社会学の諸問題 [共]

演習Ⅱ教授 佐々木丞平 近世絵画史料選読 [共]

演習Ⅰ教授 宝月 誠 社会学の方法論 [共]

助教授 佐々木丞平 Mikel Dufrenoy: Phenomenologie de l'expérience esthétique [共]

演習Ⅱ教授 宝月 誠 ※英書講読 (B. J. Biddle, Role Theory) [共]

助手 篠原 資明 Alfred Baemler: Ästhetik [共]

助手 田中 滋 ※仏書講読 (E. Durkheim, La Science Sociale et l'action) [共]

助手 加藤 哲弘 美学美術史学研究の諸問題 [院]

助手 伊藤 公雄 現代社会学の諸問題 [院]

教授 吉岡健二郎 社会学 (比較社会学) [院]

教授 宝月 誠 文化社会学の諸問題 [院]

演習Ⅰ教授 清水 善三 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 作田 啓一 社会的相互作用論 [共]

演習Ⅱ教授 佐々木丞平 社会的相互作用論 [共]

研究 併教授 坪内 良博 比較社会学の方法と課題 [院]

併教授 浜口 恵俊 日本論への比較社会学的接近 (比較社会学と共通) [共]

研究 併教授 浜口 恵俊 日本論への比較社会学接近 (社会学と共通) [院]

教授 中 久郎 社会学概論 [共]

教授 中 久郎 社会学 (比較社会学) [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

教授 中 久郎 社会的自我と共同体 (倫理学と共通) [共]

教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

学・学部と共通)

[院]

民族誌の構造

[院]

東南ア
研教授

講師 西村浩太郎

16. Jahrhundert
Leibniz: Discours de Méthaphy-
sique

[共]

法学部

棚瀬 孝雄

「紛争と秩序」の社会学(法学部
と共通)

[院]

講師 蘭田 坦

Nikolaus Cusanus: De docta
ignorantia. (西洋哲学史と共通)

講師 新 陸人

比較社会論序説

[院]

演習

教授 水津 一郎

地域の諸問題(地理学と共通)

[院]

講読 助教 長谷 正当

S. Weil: Attente de Dieu. (For-
mes de l'Amour implicite de
Dieu)

宗 教 学

講義

研究

教授 上田 閑照

※宗教学概論

マイスター・エックハルト研究
(キリスト教学と共通)

[共]

講師 細谷 昌志

Kant: Die Religion innerhalb
der Grenzen der blossen Vernunft

助教 長谷 正当

講師 大峯 顕

認識と超越

ドイツ觀念論における神話と理性

[共]

演習II 助教 上田 閑照

宗教哲学の諸問題

助教 長谷 正当

講師 梅原 猛

現代の宗教学概論

[共]

講義 教授 梶山 雄一

※インテロ思想史

講師 田丸 徳善

講師 梅原 猛

日本思想史(哲学・倫理学・仏教
学と共通)

[共]

研究 教授 梶山 雄一

説一切有部の哲学

講師 梅原 猛

講師 梅原 猛

日本思想史(哲学・倫理学・宗教
学と共通)

[共]

研究 教授 御牧 克己

刹那滅論証と恒常性批判

演習I 教授 上田 閑照

講師 梅原 猛

現代の宗教学概論

[共]

講師 梅原 猛

日本思想史(哲学・倫理学・宗教
学と共通)

演習 教授 山本 誠作

講師 山内 貞男

A. N. Whitehead: Process and
Reality (倫理学と共通)

[共]

演習 教授 梶山 雄一

梵語仏典選集

講師 山内 貞男

助教 山内 貞男

Seydell: Texte zur Mystik im

[共]

人文研 教授 柳田 聖山

Blo gsal grub mha'

[共]

- 演習 講師 本庄 良文 *Pail Utana* [共]
 語学 助教授 御牧 克己 チベット語(初級) (各学科共通)
 語学 講師 正信 公章 チベット語と共通 [共]
 ※サンスクリット文法(各学科共通)
 通サンスクリット語、インド哲学史、西南アジア史学、梵語学梵文学と共通)

基督教学

- 講義 講師 佐藤 吉昭 ※キリスト教古代思想史概説
 研究 教授 上田 閑照 マイスター・エックハルト研究
 (宗教学と共通) [共]
 〃 講師 今井 晋 ルターにおける神秘主義の諸問題 [共]
 〃 講師 森田雄三郎 科学・技術・哲学と神学 [共]
 演習 講師 荒井 章三 古典ヘブライ語文法(Waingren, Hebrew Grammar, Oxford U. P.)および創世記原典の講読(西南アジア史学と共通) [共]
 〃 講師 高森 昭 Fr. Schleiermacher: Der christliche Glaube, 2. Auflage, hrsg. von M. Redeker [共]
 講読 講師 榊形 公也 Kierkegaard: Krankheit zum Tode (倫理学と共通) [共]

會員各位

京都哲学會は去る昭和五十四年一月二十五日の委員會において、次の通り新しい編集方針を決定いたしました。

一、外国人学者の論文の翻訳は、当分の間、原則として掲載しない。

二、掲載論文は、原則として、四百字づめ原稿用紙六十枚までとする。

三、掲載論文については、その都度、二名以上の委員が閲読、承認したものに限る。

四、彙報を復活する。

五、適当な書評欄を復活する。

六、上記の編輯方針は刊行が順調に行われるまで継続する。右の決定は、「哲学研究」第五百三十七号(一〇五頁)に會告として掲載いたしました。會員の爾後の著増にも鑑み、ここに再録いたしました。宜しく御承知おき下さいますよう、あらためてお願い申し上げます。

京都哲学會

昭和五十八年十月